

事業所における自己評価表（公表）  
（児童発達支援）

公表：平成31年 3月 8日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6		・人数や活動内容によっては別の施設等を利用している。	・活動内容や利用者の状況を考慮し、療育室以外の施設（部屋）を利用する等の工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	6			・法令で定められた人員配置基準を満たした職員数を配置しております。今後も維持出来るよう努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6		・1室の中で全てを構造化させることは難しい部分はあるが、本人が気にして触りに行くような所は隠したり、開かないようにしている。 ・個々の状況に合わせた構造化に取り組んでいる。	・利用者の状況を考慮し、適切な環境を整備するよう心掛けていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・消毒等をしながらか清潔を保っている。 ・物品の消毒を行う等、清潔な環境を保つように心がけている。	・清潔な空間に保つため、室内や物品のこまめな拭き取り、消毒等を心掛けていきます。 ・活動内容に応じて、空間を有効活用出来るよう工夫していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・毎回ではないが必要に応じて話し合い、内容の見直しや改善に努めている（振り返りについて）。	・職員間で情報を共有し、業務改善につなげていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6		・保護者へのアンケートを実施した後に、集計結果を基に職員間で話し合いの場を設けている。	・保護者向け及び事業所向け評価表の結果を職員間で共有し、業務改善につなげていきます。 ・評価結果につきましては、上ノ国町のホームページにて公表しております。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6		・町のホームページにて公表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・第三者による外部評価は実施していない。	・第三者による外部評価は行っていないですが、職場内で話し合い業務改善に努めていきます。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育支援として専門職からアドバイスをもらい、それを基に療育している。</li> <li>・職員がまんべんなく参加出来るようになっている。その他、希望すると可能な限り受け入れてもらえる。</li> <li>・随時、研修会に出席している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等に参加する機会を確保し、資質の向上に努めています。</li> </ul>
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートや個別懇談等を踏まえ、子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成するよう心掛けていきます。</li> </ul>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で共通のアセスメントシートを使用しております。</li> </ul>
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況に応じて、どんな支援が必要かを考え作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の年齢や発達段階、特性等に応じた支援内容を盛り込むよう心掛けております。今後も適切な支援内容を設定出来るよう努めていきます。</li> </ul>
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画に沿った支援が提供されているかを定期的に確認し、適切な支援が行われるよう心掛けていきます。</li> </ul>
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で活動する時に個々の発達段階を確認し合い、適した内容を配慮し、楽しんで参加出来るよう工夫している。</li> <li>・全体的にチームでの取り組みが少ないため、もっと話す場を作りたい。</li> <li>・職員間で意見交換しながら決めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で情報を共有し、利用者が楽しんで活動出来るようなプログラムの立案に努めていきます。</li> </ul>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達に変更に対応していけるようにスケジュールの順を変えたり、教材の使い方に変化をつける等して、発達状況に応じた工夫をしている。</li> <li>・スケジュールの順番、内容が固定されないように順番を変更したり、個別で楽しめるもの、友達と順番に出来るもの等をその日に計画している。</li> <li>・活動記録を振り返り、固定化しないよう心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の人数や状況に応じて、活動内容の見直しを行っております。今後も活動プログラムが固定化しないよう心掛けていきます。</li> </ul>

⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	6			・利用者の状況等を考慮しながら療育枠を決定しております。個別と集団を適宜組み合わせることは難しいですが、子どもの状況や保護者の要望に応えられるよう努めています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずではなく、必要に応じて内容や役割分担について確認をしている。</li> <li>・各担当の考え方で進んでいくことが多く、困っている事や上手くいっている事が伝わってきにくい。チームで助け合って質を上げられるような環境づくりが必要。</li> <li>・行っているが毎回ではない。</li> </ul>	・職員間での打ち合わせは、その都度必要に応じて実施しておりますが、毎日必ずは行っていませんでした。今後は、打ち合わせをする機会を増やしていくよう努めています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせの時間は設けていないが、支援内容の相談をしたり、気づいた点の共有をしたりして話し合っている。</li> <li>・決まった時間は作っていないが、その都度気づいたことを話している。</li> <li>・各担当の考え方で進んでいくことが多く、困っている事や上手くいっている事が伝わってきにくい。チームで助け合って質を上げられるような環境づくりが必要。</li> <li>・行っているが毎回ではない。</li> </ul>	・職員間での打ち合わせは、その都度必要に応じて実施しておりますが、毎日必ずは行っていませんでした。今後は、打ち合わせをする機会を増やしていくよう努めています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・日々の支援に関する記録は毎回記入しております。今後も記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	6		・半年に一度見直しをしている。	・児童発達支援計画の支援内容について6ヶ月ごとに評価を行い、見直しを行っております。 ・利用者の状況等を考慮し、適正な支援計画を作成するよう心掛けていきます。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6		・担当が出席出来ない場合、児童発達支援管理責任者が参加して行っている。	・児童発達支援管理責任者及び担当指導員がサービス担当者会議に出席するよう努めています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6		・その都度、保健師等関係機関と情報を共有している。	・随時、関係機関との連携を図るよう努めています。

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	5	1	・現在、対象児はいないが、必要に応じて連携を行う。	・通所を希望される場合は、随時対応を検討していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	5	1	・現在、対象児が通所していない。	・通所を希望される場合は、随時対応を検討していきます。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じてケース会議を行っている。	・随時、関係機関との連携を図るよう努めています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・必要に応じて対応している。	・随時、関係機関との連携を図るよう努めています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	6			・研修会に参加して専門知識を深めたり、指導内容についてアドバイスをもらう機会を設ける等、関係機関との連携に努めています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	4	・上高ボランティアとの交流。 ・上高ボランティア局の生徒との交流を図っている。	・上ノ国高校ボランティア局の生徒の協力を得て、療育に参加し交流する機会を設けておりますが、日程や時間帯の都合上、全ての利用者を対象とした機会の確保は難しい状況ではありますが、今後も継続した取組となるよう努めています。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	2		・児童発達支援管理責任者が会議等へ出席しております。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・療育終了後に内容、様子を伝えるとともに、その中での課題等を伝えている。 ・実際に取り組んだ課題等を見てもらいながら様子を話している。	・送迎時や個別懇談時等に保護者の方と相互理解を図るよう心掛けていきます。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	5	1	・講師を招き、保護者向けの研修会を開く等の支援を行っている。 ・ペアレント・トレーニングは実施していないが、その都度相談内容の解決策を一緒に考え、実践出来るように心がけている。	・年に1度は保護者向け学習会を開催するよう努めます。 ※ペアレントトレーニングとは、保護者が自分の子どもの行動を理解したり、特性をふまえた褒め方等を学ぶためのプログラムのことです。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・利用前面談、契約時に説明をしている。	・利用前面談、契約時に丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明な点がありましたら、随時スタッフにお申し出ください。改めて説明をさせていただきます。

保護者への説明責任等

③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			・児童発達支援計画については、保護者の方に支援内容を説明し、同意を得ております。今後も、丁寧な説明を心掛けていきます。
③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		・個別懇談の中で相談、要望を聞いて支援につなげている。 ・半年に一回の個別懇談。	・子育て等の相談につきましては、随時対応させて頂きまので、お申し出ください。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	4	・日中集まる事が難しいのであれば、時間外に設定し、年に1、2回でも全職員で取り組んでみるかどうか。 ・今年度は保護者向け学習会として一度開催した。今後回数などは検討していきたい。	・保護者向け学習会を開催しましたが、年1回の開催のため十分な機会の確保には至りませんでした。 。今後は、保護者の方のニーズを把握するよう心掛け、開催の在り方等について検討していきます。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・その都度対応しているが、判断や返答が難しい内容は、一度持ち帰り相談してから保護者へ伝えている。 ・相談等の体制については、療育室前に掲示している。相談等があった時には随時対応している。	・苦情等に関する相談窓口につきましては、療育室前に掲示しております。その他の相談等につきましては、随時対応させて頂きますので、お気軽にスタッフにお申し出ください。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・月に1度、各家庭にお便りを送り、行事予定等を伝えている。	・月に1度、「ひまわり便り」を発行し、行事予定等をお知らせしております。今後も、月に1度お便りを発行し、情報を発信出来るよう努めていきます。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6			・個人が特定出来る名前等が記載されている書類等の取扱いには十分注意をしていきます。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・通所時の体調の確認や、帰る際に療育の内容や様子を伝えている。	・コミュニケーションを図る際、必要に応じて言葉だけではなく、視覚情報も用いてわかりやすく伝える工夫を心掛けていきます。

④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の高校生がボランティアとして参加し、子ども達と一緒に過ごしている。</li> <li>・通常の療育時に上高ボランティアと関わる時間の設定、可能であれば夏祭りの手伝いとして参加してもらっている。</li> <li>・今のところ上高ボランティアに協力してもらっているが、もう少し行事を増やし協力してもらえる体制を考えたい。</li> <li>・地域住民を招待するような行事は開催していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を招待するような行事等の開催はしていませんが、散歩の際には挨拶を交わす等、自然な関わりを実践しております。</li> <li>・今後も地域住民を招待するような行事を開催する予定はありませんが、地元の高校生との交流は継続していくよう努めていきます。</li> </ul>
④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命講習や感染症予防研修会に出席し、対応を学んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、職員は応急処置及び救命講習や感染症予防研修会に出席し、対応を学んでおりますが、保護者への周知が十分ではなかった部分がありますので、今後は周知の仕方を工夫していきます。</li> </ul>
④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に数回、避難訓練を実施している。その他職員間で対応について確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施方法等を検討していきます。</li> <li>・職員間では定期的に非常時の際の動きの確認をしています。</li> </ul>
④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度体調の確認も含めて、服薬の有無の確認をしている。</li> <li>・その日の調子について保護者から情報をもらい、薬の保管場所や療育中の保護者の居場所確認などを療育前に確認している。</li> <li>・保護者からの聞き取りを実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの聞き取りを徹底していきます。</li> </ul>
④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭調査表に記載してもらったものを確認している。</li> <li>・ごほうびを渡す時、提供する予定の物を保護者に事前に確認してから渡している。</li> <li>・保護者から情報をもらい、職員間で共有している。個別ファイルにも添付している。</li> <li>・保護者からの聞き取りを実施し、必要があれば対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの聞き取りをした情報を職員間で共有出来るように、個別ファイルへの記載を徹底し、おやつを提供する際には、再度確認するようにしていきます。</li> </ul>
④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の様式はあるが、事例集を作成しているわけではない。職員間で情報共有を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の打ち合わせの時に情報を共有しております。今後も情報共有に努めていきます。</li> </ul>

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に出席し、職員間で学習する機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止に関する研修会に出席したり、職場内での学習会を開催しております。この他、虐待チェックリストを使用し、利用者への対応について振り返る機会を設けております。今後も意識して対応するよう心掛けていきます。</li> </ul>
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、対象児がいない。</li> <li>・身体拘束をしない。</li> <li>・身体拘束が必要と思われるケースについては記載するが、それ以外は特に記載していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束が必要と思われる利用者以外の児童発達支援計画には、記載しておりません。</li> <li>・対象となる利用者につきましては、十分な検討を重ねるよう努めていきます。</li> </ul>

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。